

## 平成 26 年度第 1 回大阪府立泉北高等学校学校協議会 議事録

1 日時：平成 26 年 5 月 23 日（金）15：45～17:00

2 会場：本校会議室

3 出席者 <委員>

加藤 正彦氏（泉北高等学校元校長）、伊藤 智博氏（大阪府立大学 教授）、奥井 博之氏（若松台中学校 校長）、兵野 寿江氏（泉北高等学校 PTA 会長）

4 挨拶 校長

- ・SSH の指定が 2 期目 3 年目にあたり、JST からの中間検査が行われる予定です。また、昨年度に引き続き人材育成重点枠による予算と合わせて 1 9 0 0 万円を充実した理数教育に役立てていきます。
- ・今年度より「骨太の英語力養成事業」が始まり、来年度からはスーパーイングリッシュティーチャーが配置され、TOEFL iBT の高得点をめざした授業実施に向けて準備に入っています。
- ・PTA、後援会、同窓会及び学校の協議により教育支援協議会を設立し、約 2 0 0 万円の予算を整備していただいた。学習環境の整備やクラブ活動、国際交流など学校行事のため、各分掌で本校の教育目標の実現に向けて計画的に活用させていただき、さらなる充実した教育活動を行ってきたい。

5 本年度の学校経営目標とその取り組みについて

①平成 25 年度学校経営計画及び学校評価について（教頭より）

- ・昨年度の教育目標は自己評価では、多くの部分において概ね達成されていた。
- ・今年度の中期的目標は昨年度と比較して具体的な目標を示している。昨年度の実績をふまえた目標値としては高い目標ではあるが、内部努力あるいは外部の力をお借りして達成できるようにしたい。

②各分掌等の取り組みについて

1) 教務部の取り組みについて（教務部長より）

- ・成績処理・教科書注文について業務を再点検しミスが減らせるように改善を行う。校務処理システムを昨年度より活用してきたが、より円滑な校務処理をめざしたい。
- ・参観や公開授業を年間 3 回実施することを計画している。5 月 1 0 日に行った第 1 回の公開授業では 1 0 5 名の参加があった。第 2 回を 6 月 1 5 日に、第 3 回を 1 1 月 1 日に実施予定である。この後も円滑に公開授業を実施していきたい。
- ・授業アンケートも 7 月と 1 2 月に実施し、教員の授業力の向上をめざす。
- ・自習環境の整備は、課題検討委員会と協力して取り組むが、教務部として家庭学習支援プロジェクトチームを作り、生徒の学習時間が伸びる取組みを考えていきたい。

2) 生徒指導部の取り組みについて（生徒指導部長より）

- ・あいさつ、掃除、マナーの向上を三本柱に取り組む。学年の先生や担任、クラブ顧問の指導が浸透し、随分改善されてきたと思われる。
- ・他校の例でも携帯・スマートフォンによるトラブルが増加しており、使用時間の増加も問題になっているので、適切な使用方法を指導したい。
- ・自転車の乗車マナー向上のために講習会を中間考査の最終日に開いたが、改善が難しい状態である。全教員で協力して、少しずつでも改善できるように根気強い指導をおこなっていききたい。
- ・遅刻は昨年目標は-5%であったが、実際は-18%となった。さらに遅刻が減少できるように指導していききたい。

### 3) 進路指導部の取り組みについて（進路指導部長より）

- ・1年次から3年次まで系統立てた指導、自己認識や社会情勢の理解、職業観を育てる希望進路の実現、的確な進路情報の提供、長期的及び計画的に取り組む受験勉強を通じた大学入試センター試験受験者数の維持と国公立及び関関同立の合格者が増加する体制づくりをめざす。
- ・年度当初に進路 HR を系統立てて計画し、年間5回以上進路だよりを発行するなど、生徒が今何をすべきかはっきりとわかるように工夫する。
- ・家庭と連携した進路指導のために、保護者向けの進路説明会を年1回各学年で行う。
- ・大学での説明会参加や進路広報者との対応で、進路情報を得る。
- ・国公立大合格者増加のために推薦及びAO入試のための説明会を実施する。

### 4) 保健部の取り組みについて（保健部長より）

- ・保健委員会を定期的に開催し、保健活動をおこなっていく。
- ・校内の清掃整備に力をいれて、学習に集中できる環境を整備していききたい。各クラブ部員による校内清掃を中間考査後に実施した。
- ・安全対策として、地震及び火災に対応した訓練を実施する予定である。また、先日、教員対象の救急措置講習入門編を実施した。夏休み前には2年生のクラブマネージャー対象の熱中症対策講座を予定している。
- ・教育相談係が中心となって教育相談を行う。

### 5) 国際総務部の取り組みについて（国際総務部長より）

- ・先日開催した長期留学説明会に生徒22名、保護者23名が出席した。2年生では2名が現在長期留学中である。
- ・夏休みに行われる夏季語学研修説明会には、生徒123名、保護者97名が出席し、オーストラリアに10名、カナダに20名、ハワイに15名が7月19日から2週間参加。
- ・長期短期留学の受け入れとして、2学期から1年間アメリカより1名、半年間オランダから1名を受け入れ。
- ・国際交流として、4月16日から21日まで姉妹高校のモスマン高校10名を5泊6日で受け入れた。5月12日に中壱高校から65名の高校生との交流を実施。7月にはJET記念米国高校生で32名来校する予定である。
- ・5月10日にPTA総会を実施した。7月9日に大学見学会を実施し、関西大学と大阪府立大学を見学する。
- ・国際交流の取組みが、全生徒に浸透するように国際総務部通信を発行し、学校の国際化をめざし

たい。

- ・各式典を厳粛に、かつ、生徒の思い出に残るものにできるようにしたい。

6) 図書情報部の取り組みについて（図書情報部長より）

- ・貸し出し人数は増加しているが利用人数が増加していないので、利用を促進できるように、図書貸し出しのバーコード化や図書委員の作成による図書だよりを発行する。
- ・国語科の協力を得て、校内読書感想文コンクールを実施している。
- ・授業内容と関連した図書コーナーを作る予定。
- ・6月12日にビッグアイでわらび座の「ブッダ」という演劇を鑑賞。保護者も参加できる。
- ・泉北文化講座は年度末に堺市の中学校等に、生徒の海外語学研修の報告や先生方の研究の成果を載せて配布している。
- ・校内ネットワーク管理組織の確立においては、担当の教員が専門にあたっている。

7) SSHの取り組みについて（SSH運営委員より）

- ・6月21日に3年生による課題研究発表会を実施する予定である。
- ・昨年からはまった選択科目「科学探求基礎」では1年生から課題研究に取り組んでおり、昨年は42名だったが、今年度は45名が受講している。
- ・5月30日に2年生が天神崎で観察を行う。
- ・海外の学校との自然科学に関する研修や共同研究に取り組んでいる。今年度もオーストラリア及び台湾で研修を行うが、オーストラリア研修は本校から6名、他校から7名が参加し、重点枠の取り組みの一つとして行った。今年度も同様に近隣のSSH校から参加する生徒と共に実施する。

9) 「骨太の英語」の取り組みについて（「骨太の英語」事業運営委員より）

- ・本年度より始まった「骨太の英語力養成」事業の対象校として選ばれた。
- ・「骨太の英語」事業運営委員会を発足し、科長、英語科教科主任、英語科教員、国語科教員、社会科教員で構成されている。
- ・熊本県立熊本第2高等学校及び滋賀県立米原高等学校へ先進事例研究として訪問する予定。
- ・英語科の教員がTOEFL iBTを今年度1名受験予定。
- ・大阪府教育委員会が月1回程度実施するTOEFL iBT講座を英語科教員が1名受講中。
- ・EFHS事業から継続して実施している土曜講座を今年度も年間30回程度実施するが、新たに外部機関に委託し、TOEFL iBTの専門家による講座を開講する予定である。
- ・海外生徒派遣として、ハワイ大学交流研修に参加する生徒の補助をする。

## 6 協議

(委員) 教務部の家庭学習新プロジェクトチームはどのようなことを行うのか。

→ (学校) 家庭学習を増やすには、現在どのような課題があるのかをまずはつかめるように調査を行いたい。

(委員) スマートフォンのLINEなどの使用頻度が非常に高くなっているが、これに関する弊害が起きていることは泉北高校にはないのか。

→ (学校) 学習の妨げだけでなく、生活習慣にも影響を及ぼすという事例が他校ではあるようだが、本校では現在のところ深刻な事例は発見されていない。常日頃から

そういったスマートフォンや SNS の使い方を指導していきたい。

- (委員) 防災訓練時になかなか連絡がとれないという問題が発見されたので、参考にしてほしい。また、図書室では図書コーナーを設けるなど努力をされているが、強制的に数冊借りさせるために図書室を歩かせるというのもよいのではないか。
- (委員) 国際交流の受け入れと派遣がバランスよく行われている。大学では留学先の大学と単位交換制度を設立したりしているので、高校でもできるのではないのでしょうか。
- (委員) 泉北高校のパンフレットは近隣の町内会に配布されてはいかがでしょうか。松原東小学校で教員のコメントや学校の取組みを紹介したものを作成し、町内会で回覧することを実践していた。そのような取組みを実施することで、近隣のみなさんに親近感をもってみていただけるのではないか。
- (委員) 教科内の研究授業あるいは教科の枠を超えた研究授業の実施はされているか。また、部外の先生で先進的な教授法を行っている先生による研究授業はあるか。このような双方向の授業研究なくして授業技術の向上はないのではないか。外部の授業研究会への参加が高校の先生方は少ないのではないかと感じる。
- (学校) 5月26日より教育実習が始まることに合わせて、オープンクラスということで研究授業を実施する予定である。また、新任教員の研究授業を2学期に実施するなど、各学期に1回は研究授業を行う予定である。他教科の授業も見て研究協議なども実施する予定である。
- (委員) TOEFL iBT で80点を取得した学生は府立大学では英語の4科目の受験が免除されており、他大学でも同じような取組みがなされていると思われるので進路情報として生徒に知らせていただきたい。また、卒業生で進学されたマギル大学はカナダでも大変優秀な大学であり、この実績は大変素晴らしいものであるので、ぜひ周知していただけるよう努力してもらいたい。